

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	一般教養B1	
科目基礎情報					
開設学科	放送芸術科	コース名		開設期	前期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位			授業形態	講義
教科書/教材	参考書・参考資料等は、必要に応じて授業中に配布する。				
担当教員情報					
担当教員	山田素子	実務経験の有無・職種	有・制作		
学習目的					
この科目を受講する学生は、映像制作の基礎を学ぶ事で番組制作を作り手としての視点から見る事が出来るようになる。また、映像を出来るだけ理論的に捉え、自分自身の興味や適性を見出し、将来のビジョンを明確にすることを目的としている。特に放送された番組映像を用いながら番組作りを見ていく事で現場で必要となる基礎的な知識を身につける事が出来る。さらに目指す職業の仕事内容にも触れていき、放送業界を取り巻く昨今の事情など、新しい情報を習得する事で就活に繋げていく。					
到達目標					
この授業は、番組制作の基礎を「制作現場の目線」から学ぶことを目標としている。資料映像として、実際にOAされた映像を見つつ、番組制作の意図、流れ、演出などを習得していく。さらに現場の情報を得る事で将来のビジョンを明確にし、就活に活かせるような授業を目指す。常に映像の制作側の視点に立ち、番組を理論的に見る事が出来るよう、学んでいく。					
教育方法等					
授業概要	この授業では、個人ワークやグループワークを採り入れる。他人が発する情報をどのように受けとめ、理解するか、さらにそれをどのように伝えていくかを意識しながら、授業を進める。授業で取り上げた映像を見ながら企画意図や演出、カメラワークなどを学び、自分はどうするか?など自分に置き換えて学びを進める。また、プレゼンテーションを多く用い、自分の言葉で語り構築できるようになることを目指す。				
注意点	この授業では、学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。但し授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。また、主体的に授業に参加する事を徹底し、プレゼンなどの発表の際は積極的な態度受講する事を求める。(詳しくは、最初の授業で説明)。さらに授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備考		
	試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する		
	提出物	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	レポート	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	成果発表(プレゼン)	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画(1回～15回)					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	業界職業マップ	業界の仕事内容や将来のビジョンを考える			
2回	番組の流れ	TV番組制作の流れを理解する			
3回	放送用語(1)	現場で使われている放送用語について理解する			
4回	映像ジャンル	番組のジャンルに関する理解と知識			
5回	放送用語(2)	現場で使われている放送用語について理解する			
6回	番組制作構造	局、制作会社、ポストプロダクション、美術等の役割について理解する			
7回	放送用語(3)	現場で使われている放送用語について理解する			
8回	視聴率と予算	視聴率と制作予算について理解する			
9回	TVの歴史について	TV創世記～現代の番組の演出について			
10回	放送用語(4)	現場で使われている放送用語について理解する			
11回	CM基礎(1)	CMの企画意図、演出について理解する			
12回	CM基礎(2)	代表的なCMや海外の作品について演出意図を考える			
13回	映像問題提起	放送禁止、放送自粛など放送倫理について理解を深める			
14回	作品作り基礎	短尺の作品絵コンテ～プレゼンを行う			
15回	前期まとめ	放送用語、番組基礎、CM等々…全体のまとめ			